

第四回

神
保町
黒門
寄席



桂
小文治

日時 2023年7月28日 (金)
会場 専修大学神田キャンパス
10号館16階 相馬永胤記念ホール
開演 18時 (開場は17時30分)
木戸銭 無料
定員 100名 (先着順)
演目 井戸の茶碗 (桂小文治)
うなぎ屋 (たちばな家半志楼)



たちばな家
半志楼

(問い合わせ先)

黒門寄席事務局 (専修大学総務部庶務課)

TEL 03-3265-6821

E-mail ksyomu@acc.senshu-u.ac.jp

専修大学は、「社会知性の開発」を教育目標に掲げると共に、地域貢献を大きなミッションとしている大学です。専修大学による「知」や「文化」の発信として、神田神保町ならではの企画を実施する目的で、「黒門寄席」を実施しています。江戸情緒の残る神田神保町で聞く古典落語の話芸を堪能できる場を提供し、地域の方々、学生、卒業生、教職員などに、新たな専修大学の魅力を発信しています。

これまではコロナ禍の影響で制約された中での開催でしたが、今回は有観客で平常通り実施いたします。

つきましては、神田キャンパス近隣の皆様にも足をお運びいただきたく、ご案内申し上げます。夕涼みのひとときを、一緒に楽しみましょう。

【出演者プロフィール】



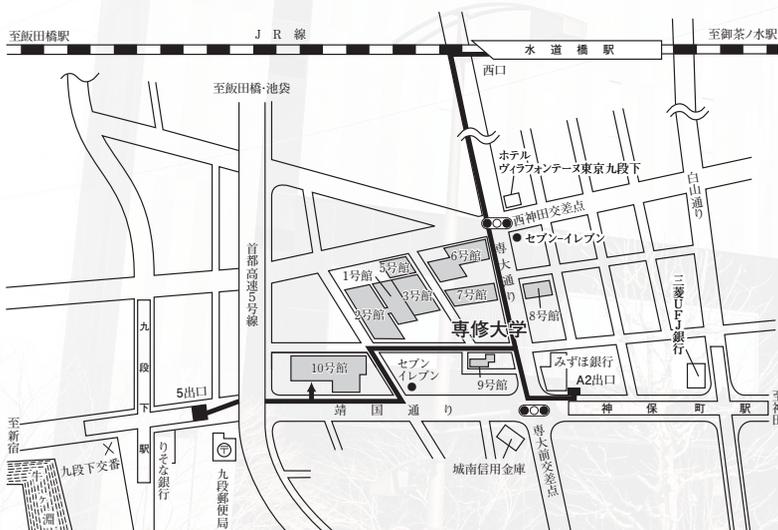
桂 小文治 (かつら こぶんじ)

1957年、青森県八戸市に生まれ。専修大学在学中に十代目桂文治に入門（前座名：桂亭治）。1980年、本学卒業後、内弟子修行を始め、1984年に二ツ目昇進。1993年には真打に昇進し、師匠文治の師匠の名跡を襲名、三代目桂小文治となる。2008年には文化庁芸術祭優秀賞を受賞した。

現在は、公益社団法人落語芸術協会理事、八戸大使、八戸前沖さば大使としても活躍中。

たちばな家 半志楼 (たちばなや はんしろう)

東京都出身。1973年3月、専修大学経済学部経済学科卒業。在学中は専修大学落語研究会に所属、顧問の七代目橋家圓蔵師匠に師事。卒業後、社会人として仕事をしながら、落語が忘れられず素人落語家として活動。1973年より現在に至るまで専修大学落語研究会OBの仲間と落語会「昔噺の会」を定期的で開催している。



【ご来場の皆様へのお願い】

※ 会場での飲食はご遠慮ください。

専修大学神田キャンパス 10号館

〒102-8425 東京都千代田区神田神保町3-8

〈最寄駅〉水道橋駅西口より徒歩7分

九段下駅出口5より徒歩3分

神保町駅出口A2より徒歩3分